

## 4 - 3 1988年7月～8月の伊豆半島東方沖群発地震活動（速報）

### Swarm Activity off the East of the Izu Peninsula, July-August, 1988

国立防災科学技術センター

National Research Center for Disaster Prevention

1988年7月26日より伊豆半島東方沖において地震活動が活発化した。この群発地震活動は、8月末にほぼ終息した。活動の比較的活発な期間（7月26日～8月9日、ただし7月31日の06時より13時43分は欠測）について、最近完成した群発処理ルーチン\*によるデータ処理を行った。この処理結果は以下の様である。

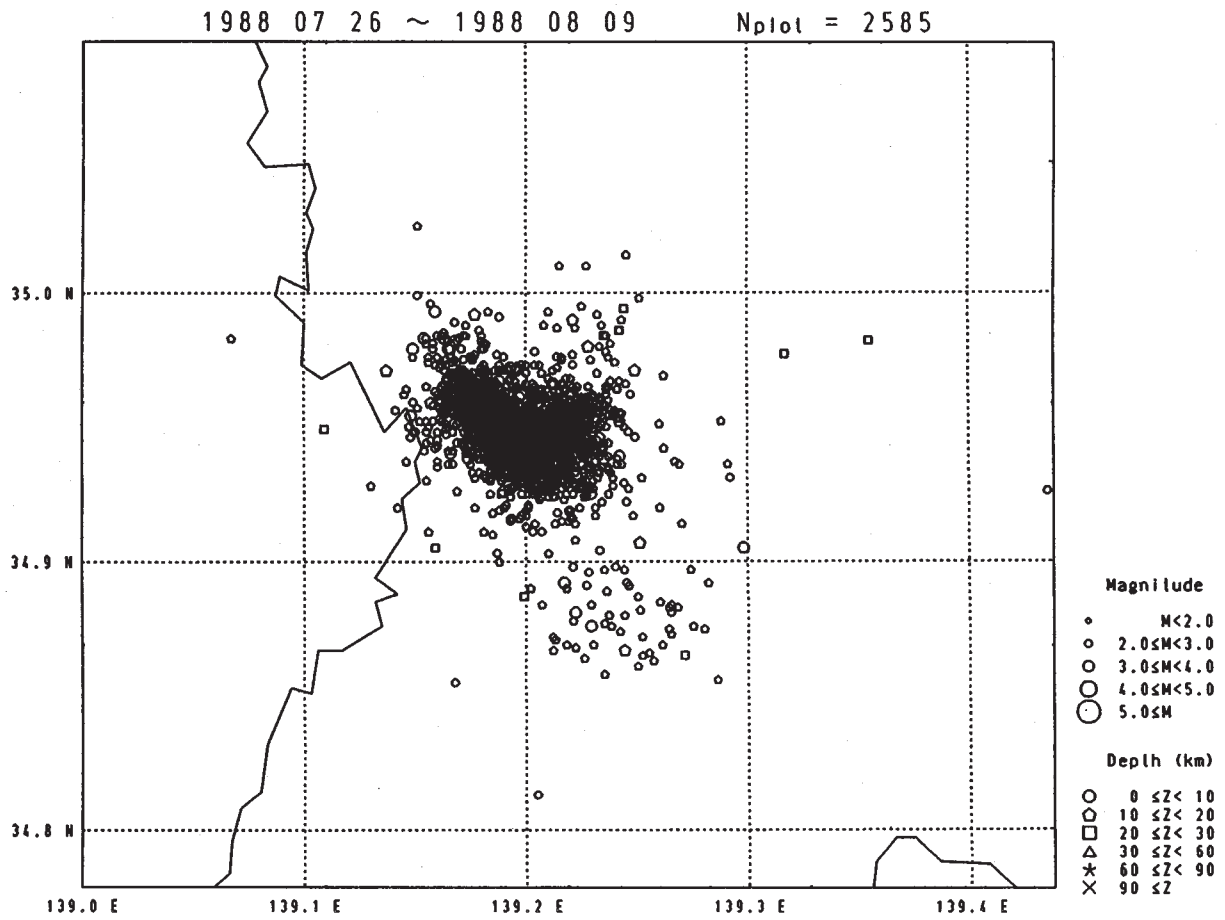
第1図に震央分布、第2, 3図に東西および南北の断面図を示す。活動の中心は、5～10km程度の広がりであるが、これとは別に34.9° Nの南にも活動が認められる。第4図に地震規模別累積頻度分布を示す。M2.0以上で直線的分布となっており、この範囲でほぼ一様に検出されていると考えられる。

第5図に東西距離を縦軸とする時空間分布を示し、第6図には6時間毎の地震発生回数変化を示す。調査期間におけるb値の時間変化は、第7図に示されている。この図によると、活動が激しい7月31日から8月5日の期間のb値は、その前後の期間より低い値となっている。

注\*：

群発処理ルーチン：オペレータによる地震の認定・一部観測点（5点以下）読み取りと他観測点についての自動読み取りの混合処理方式。今回の処理では、約30観測点を検出の対象とし、中伊豆（JIZ）、初島（HTS）、下田（SMD）のP-time、および韮山（NRY）のP、S-timeをオペレータが検出した。

（井元政二郎）

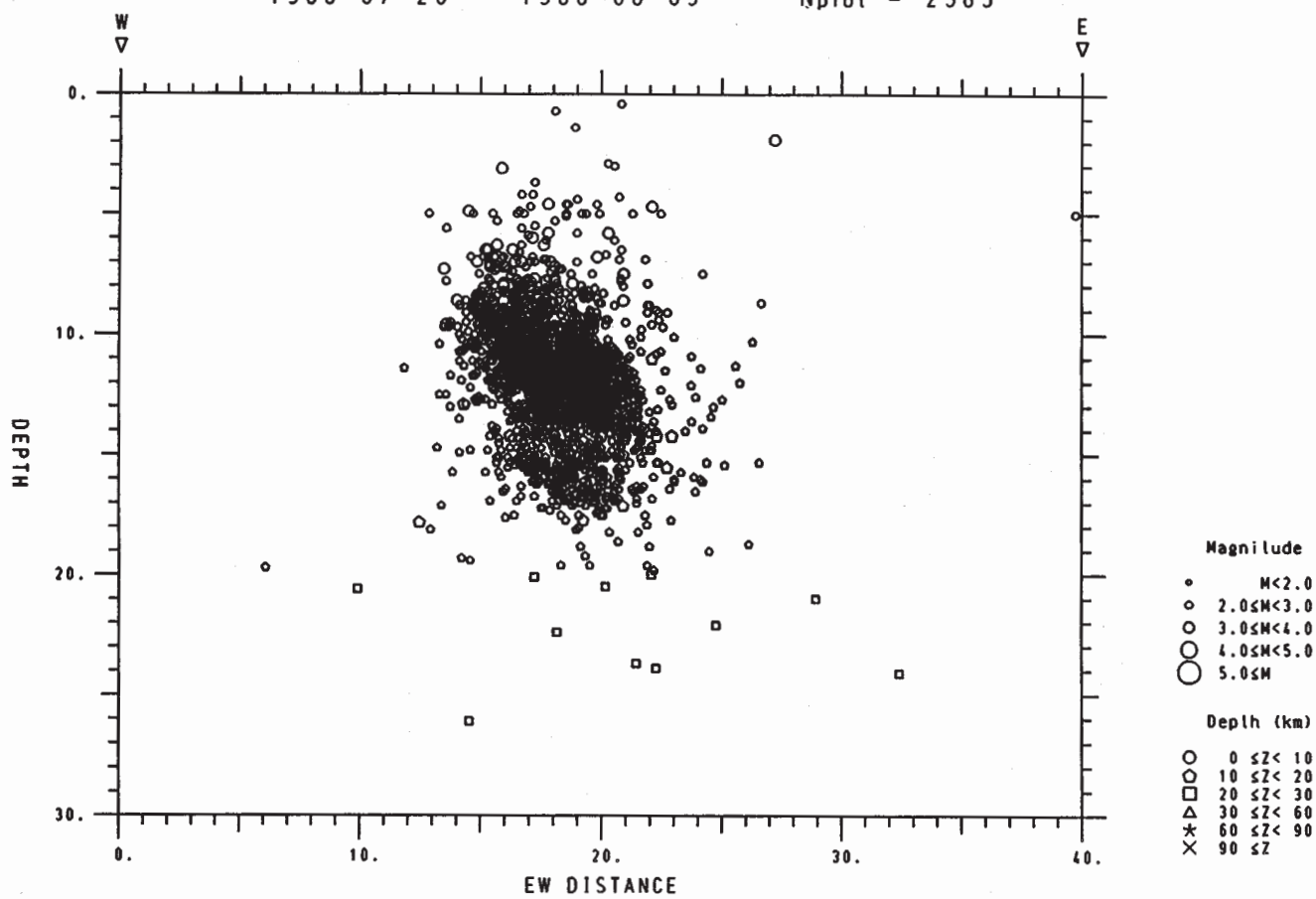


第1図 震央分布図 (7月26日08時~8月09日, ただし7月31日06時~13時43分は欠測)

Fig. 1 Epicentral distribution (July 26 - August 9, 1988; data for 06:00 - 13:43 of July 31 are not included).

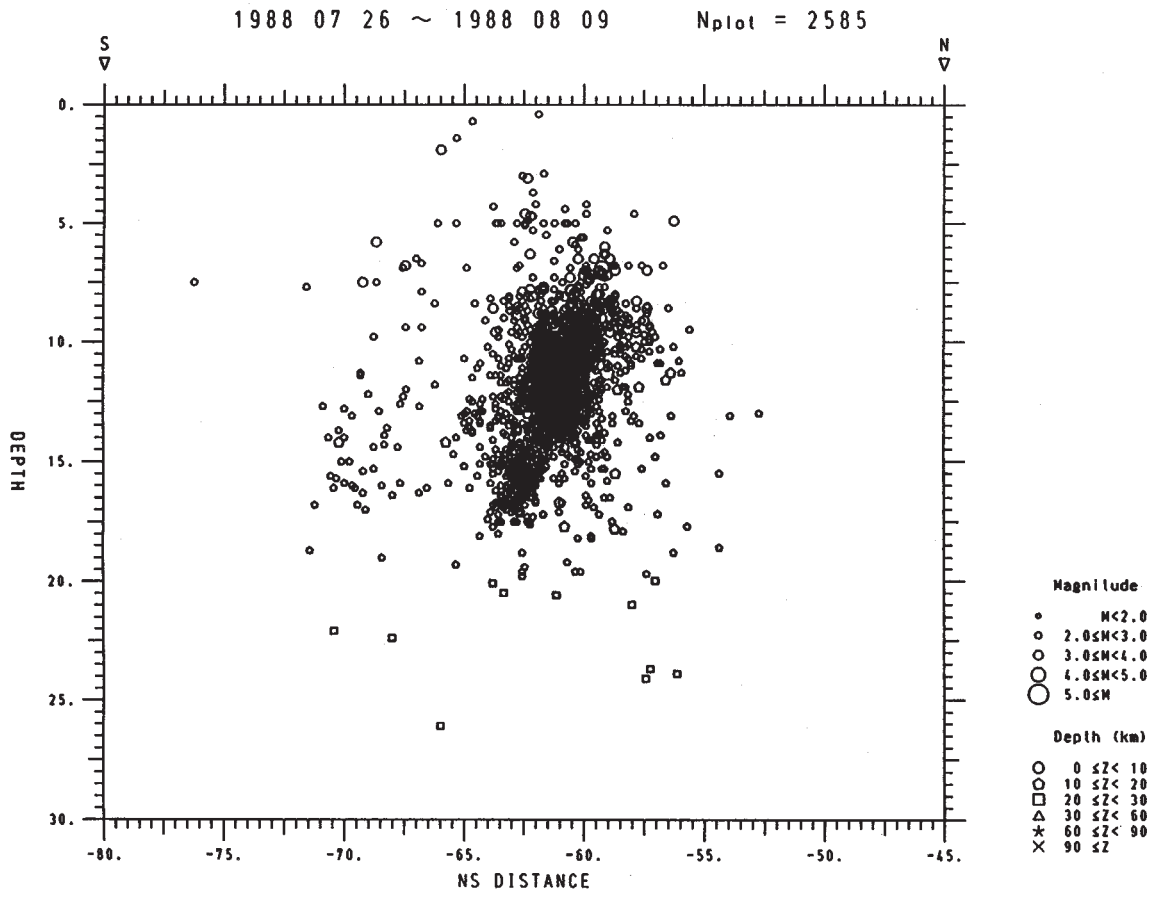
1988 07 26 ~ 1988 08 09

Nplot = 2585



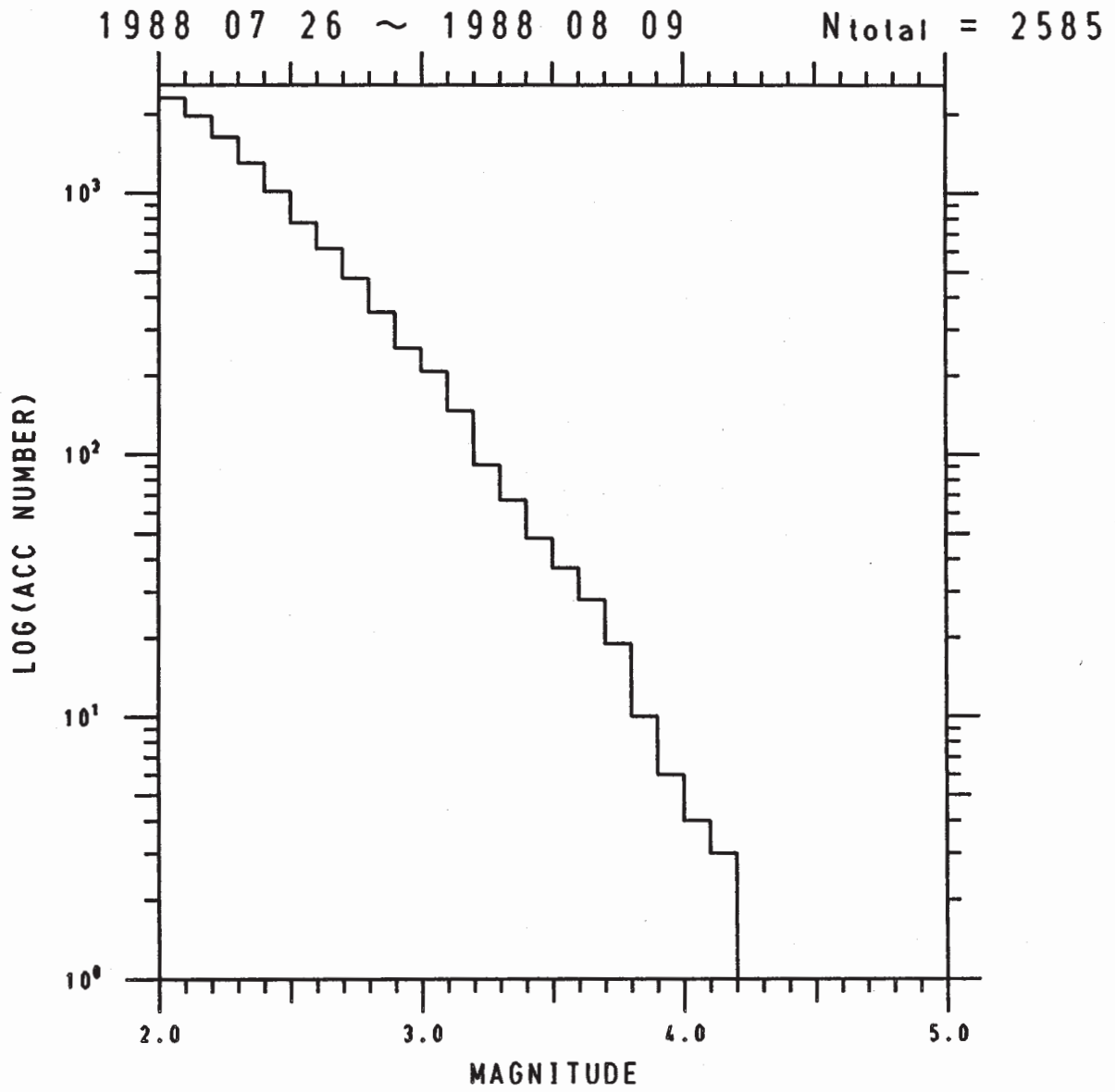
第2図 東西断面図

Fig. 2 Vertical section along the EW direction.



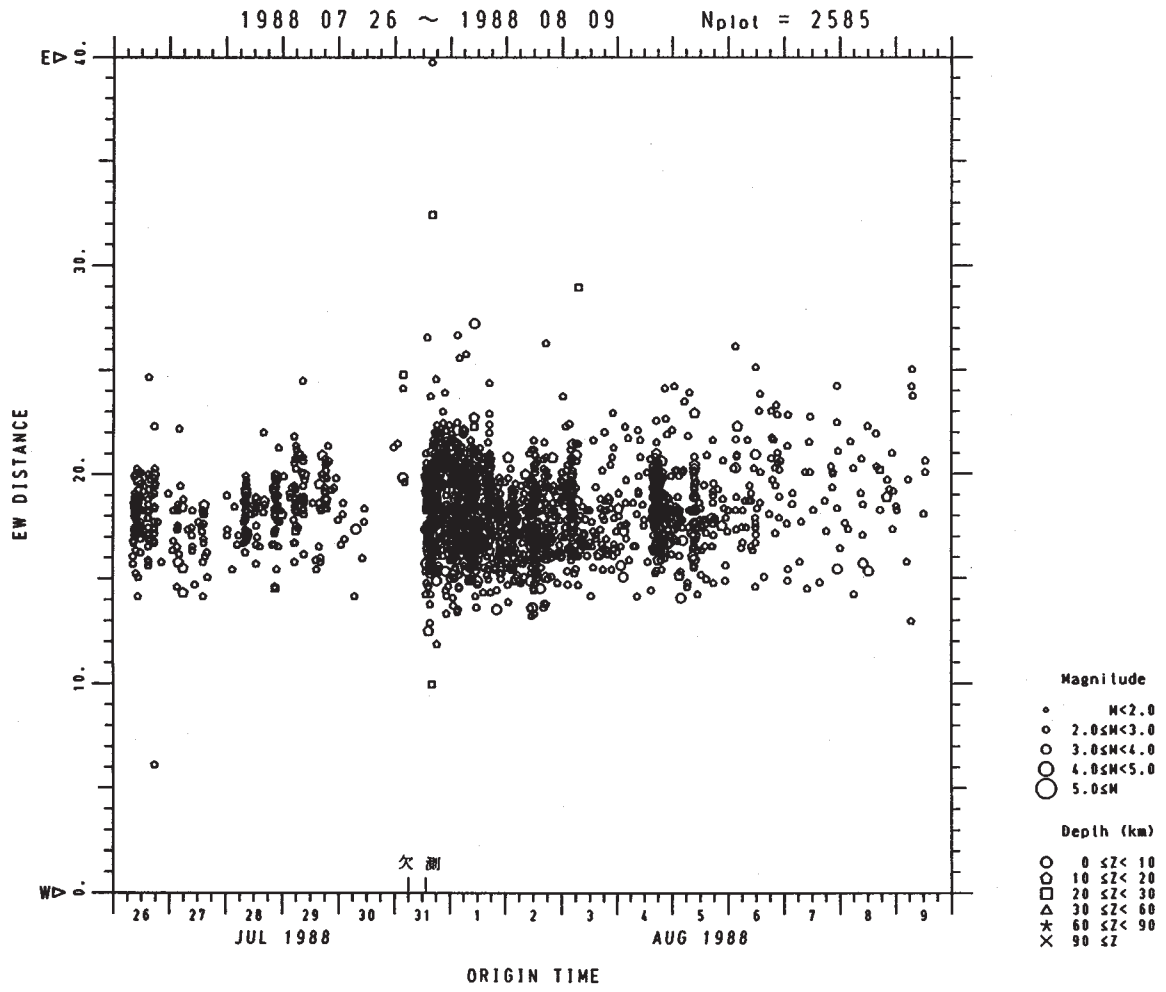
第3图 南北断面图

Fig. 3 Vertical section along the NS direction.

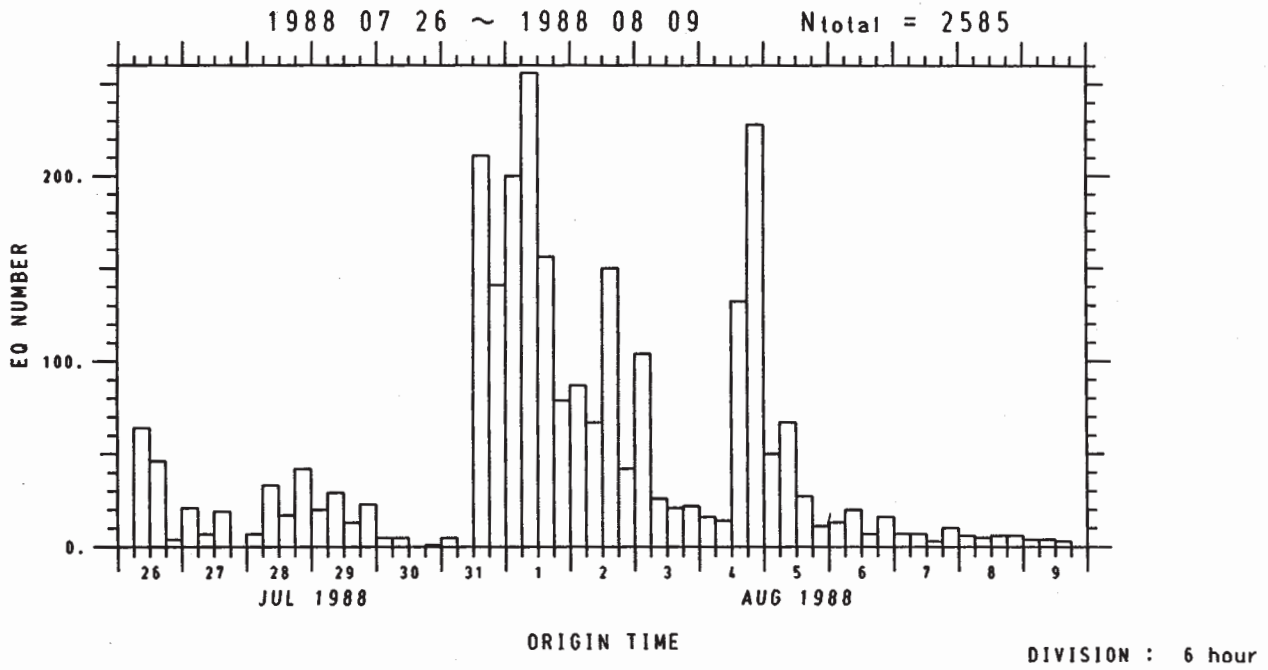


第4图 地震規模別累積頻度分布図

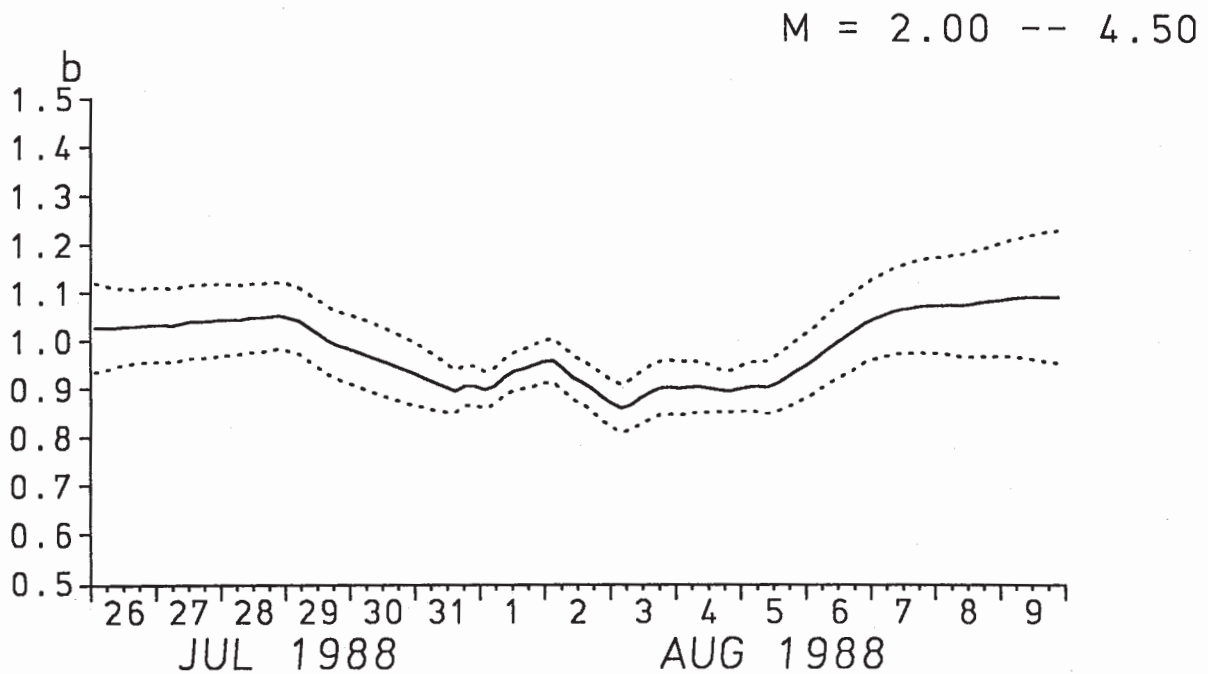
Fig. 4 Magnitude-frequency relation.



第5図 時空間分布図（東西距離を縦軸とする）  
 Fig. 5 Space-time plots along the EW direction.



第 6 図 6 時間毎の地震発生回数  
 Fig. 6 Number of earthquakes at every 6 hours.



第 7 図 b 値時間変化  
 Fig. 7 Time variation of the b value.